



平成 28 年度より、落合第三小学校を拠点校として、「まなびの教室」が開設されました。

令和 8 年度より、落合第三小学校、落合第五小学校、落合第六小学校、西新宿小学校の 4 校で指導をしています。



「まなびの教室」では、こんなことを学びます

「算数は得意だけど国語は苦手」「読むのはできるけど書くのは苦手」  
「持ち物の話を一生懸命聞いているけどその日には忘れてしまう」

このように一人ずつ得意なところ、苦手なところが違います。

ものごとの理解のしやすさについても得意・不得意があります。耳から聞いた方が理解しやすく学習が進む子どもがいれば、目で見て確認した方が学習しやすい子どももいます。

得意・不得意の差が大きいときには、その子どもに合った学び方を身に付けたり、さまざまな場面での対応の仕方を個別に学んだりすることで、それぞれの学び方に応じた指導を受けることができます。

#### ☆ 相手の感情や意図を読み取ることが難しい子どもは…

わがままや自分勝手な子と誤解されてしまい、友達との人間関係がうまく作れない場合があります。絵カードなどの教材を使って、対人行動について学んだり、相手の気持ちを考えたりして、他者理解を進め、人との良好な関係づくりを学びます。

#### ☆ 不器用さが気になる子どもは…

学習道具（はさみ、ものさしなど）をうまく使えない、字が上手に書けない、走り方がぎこちない、転びやすいなど不器用さのある子どもは、ゲームや遊び等子どもの親しみやすい方法で手先や体の動きを体験し、生活場面に生かします。

#### ☆ 特定の教科学習の困難さのある子どもは…

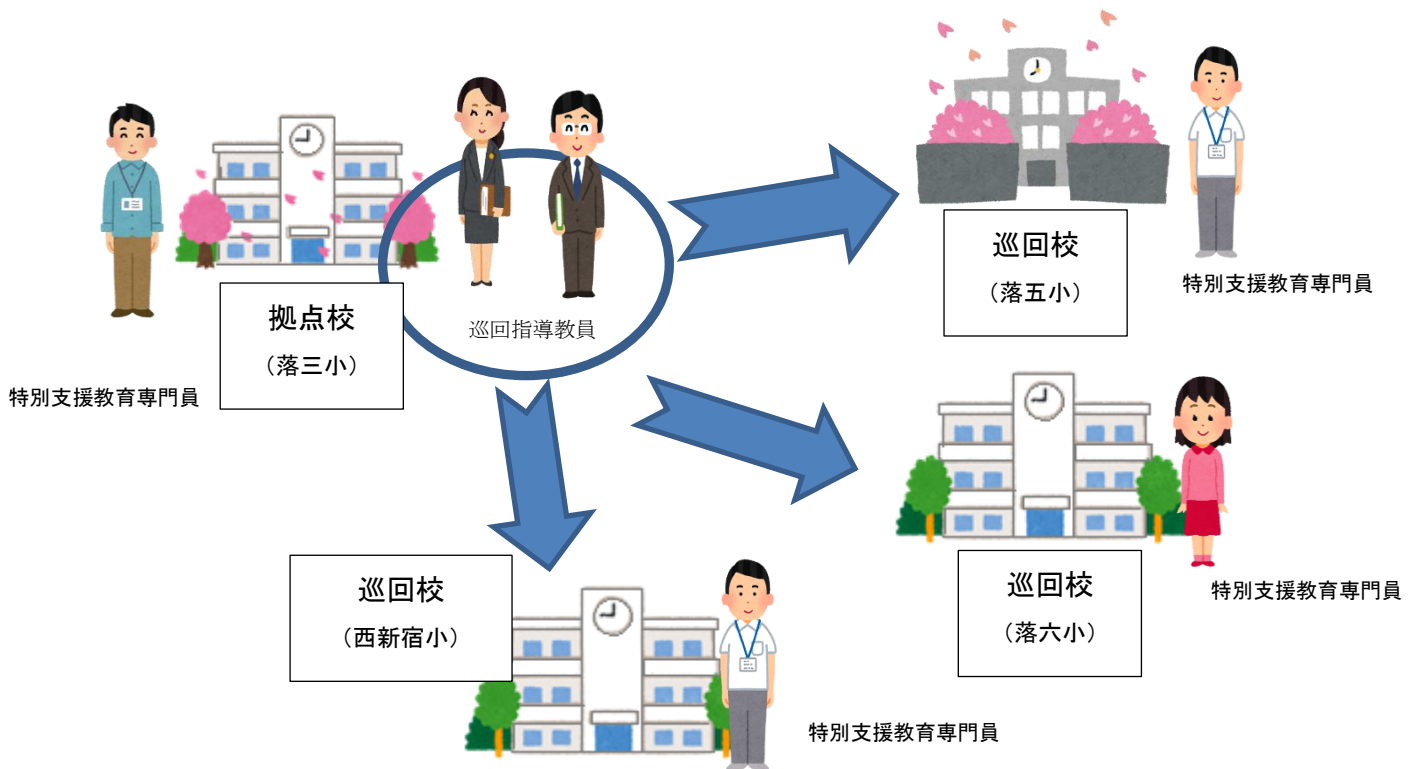
工夫された教材を使って、それぞれの子どもの得意な学び方を学びます。



## 教員が、各校へ出向き、指導をします



- ☆ 週1～2時間程度、校内の「まなびの教室」で個別指導や小集団指導を受けます。
- ☆ 学級担任とまなびの教室の教員が連携を取り、在籍学級での生活や課題に応じた、きめ細やかな指導を受けることができます
- ☆ 年間を通して、臨床心理士などの専門家や各校の特別支援教育専門員が児童の様子を観察し、まなびの教室の教員と連携して指導内容を検討します。
- ☆ 一人一人の子供が十分に力を発揮して楽しい学校生活が送れるように指導しています。



## まなびの教室の利用については、まず、学級担任にご相談ください



- ・保護者からの申し出を経て、校内の教職員で協議し「まなびの教室」を利用した方がよいかどうかを検討します。
- ・「まなびの教室」の原則の利用期間は1年です。必要に応じて、継続していくかどうか、ご家庭と相談していきます。